

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272400615		
法人名	有限会社コアホーム		
事業所名	グループホームライラック		
所在地 (電話番号)	〒038-3671 青森県北津軽郡板柳町大字掛落林字前田263番 (電話) 0172-79-1078		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 19日	評価確定日	平成 20年 3月 5日

【情報提供票より】(平成 19年 12月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 5月 5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 13人, 非常勤 0人, 常勤換算	11.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造壁工法 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	7,200 ~ 8,100 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 750円			

(4) 利用者の概要(12月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	1 名	要介護2	8 名
要介護3	5 名	要介護4	4 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	81.8 歳	最低	62 歳
		最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中外科内科医院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は地域の方々が頻りに利用する温泉に隣接しており、日常的に地域の方々が活動の様子を眼にする事が出来る環境にある。前庭の東屋を利用した屋外での活動や、日頃から率先して外出の機会を確保している取り組みが、地域の中での共生を自然なものにしている。{笑顔と信頼で心のケア}をサ-ビスのキ-ワードに、個々の入居者が社会性を維持しながら、生活の中で役割を持ち有用感に裏打ちされた落ち着いた暮らしが展開されている。又、代表者を中心に職員間の協力体制も図られ、気付きの視点に重きを置き、サ-ビスの振り返りを行いながら、質の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の課題等はないものの、それに甘んずる事無く、資質の向上を目指し、改革・改善策を打ち出し、家族にも通知している。特に、環境整備や業務の標準化、及びユニットの独創性の構築、入居検討委員会の設置等、前向きに取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ケアサ-ビスの質の向上、意識の共有・統一の為、全職員で自己評価を行っている。課題については、日々の打ち合わせや随時・定期の会議等で検討し、出来るものから解決して行くようにしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者の生活の様子や、今後の支援体制の在り方について意見交換を行い、可能な限り現場に取り入れている。定期的な開催や、参加メンバ-は固定化されつつあるものの、家族の参加が少なく、獲得に向け苦慮している状況。精神面へのアプロ-チで家族が持つ役割は大きく、種々働きかけ今後の取り組みに期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会や報告の折に、近況を伝えたり、意見の吸い上げを行い、運営やケアサ-ビスに反映させている。入居契約時に苦情への対応について説明を行い、又、事業所内にも担当者や対応方法について掲示、普段の関わりの中でも話し易い雰囲気作りに努力し、想定事例を用いたりしながら、不安の解消に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	事業所自体が日常的に開放されている環境であり、地域の方々の行き来も多く、交流は活発である。代表者は事業所が花に囲まれるように栽培に力を入れており、地域住民の方に管理を委託、又、野菜等の差し入れも多く、御礼に季節の花を返す等付き合いを確保している。更に事業所主催の行事に招待したり、地域の行事に出掛けたり、良好な関係を維持している。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスへの移行に伴い、理念の(笑顔と信頼で心のケア)を基本に事業所としての考え方を細分化し、全職員で話し合い運営理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念を良く理解しており、日常的に理念に基づいた支援を提供している。又、事業所内に掲示し、外部からの訪問者にも理解出来るよう工夫されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の祭り等に参加したり、入居者の社会性が保たれるように外出等も希望、要望に沿った形で行われている。地域との人間関係も事業所の建物等を開放し積極的にやっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価での助言を元に少しずつ改善に取り組んでいる。また、外部評価の意味・意義を代表者が職員と共に考え、より良いものにする為に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での議題の伝達はもとより、自分達は今後どのようにして入居者に対し支援等を行っていくのか随時話しあっている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実際等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは相互の情報交換を行っており、毎回、運営推進会議にも担当者の出席がある。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修で学んだ制度について、職員会議等を通じ全職員に周知すると共に、いつでも支援できるように努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>代表者は常に現場の確認をしながら、職員の意識づけを行い虐待防止に努めている。さらに、研修を通じ関連法案の理解にも努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退所を含めた事業所対応可能な部分について説明を行っている。また、契約後も面会時等に分からないことがあればその都度説明をしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>近くに住む家族には面会時にその都度口頭で報告すると共に、遠方に住む家族には毎月の便り郵送と共に状況を報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族とは出来るだけ話し合いの時間を持ち、何でも話せる雰囲気作りに努めている。また、意見箱を設置し家族等の意見を反映させる取り組みをしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者及び新しい職員がお互いを少しでも知り合う事が出来るように、交流の場面を設定したり、最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が研修参加出来るように計画、実施している。又、研修内容は復命書で報告、研修記録等は全職員が閲覧出来る体制が取られている。又、資格取得に向けても支援体制があり、職員も前向きに取り組んでいる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開設当初は他事業所と交流を持ち、意見交換等を行うようにしていたが現在は行ってない。		地域の研修会参加や、他事業所との相互研修会・事例検討を通じ、事業所外の人材の意見や経験に触れ、視点を変えたり発想の転換を図ったりする効果を得、ケアサービス反映されるよう期待したい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居14日間は、代表者も含め集中的にケアを行い、事業所での生活への移行がスムーズに展開出来るよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の「出来る事、出来ない事」を把握し、お互いが協働しながら生活し、支えあっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の希望・意向の把握に努め、家族の協力を得ながら支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者及び家族の意向を含め、職員との意見交換を参考にしながら利用者一人ひとりの個別介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期及び随時の見直しと評価を行っており、状態の変化に応じて、家族の意見を聞き取り、職員間の検討も加え計画作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者及び家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、入居者個々の要望に応えるように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医の利用が継続出来るよう支援している。又、状況変化や家族の要望に応じて、臨機に受診援助を行い、健康管理に努めている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び終末に対する対応指針が定められており、入居契約時に説明し理解されている。又、関係機関との確認も出来ており、協力体制がある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で気づいた事などその都度話し合い、プライバシー確保について職員間で日常的に確認出来る体制にある。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者個々の生活リズムやスタイルを優先し、その人に合った生活が送れるように支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の方に味付けをお願いする事や可能な限り準備等を行っていただくように支援がなされている。また、BGMを活用するなど食事の環境づくりにも努めている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入居者の希望に沿って入浴が提供されている。また個々の状況変化に合わせて臨機応変にその都度入浴対応をしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの得意分野で、それぞれが持つ能力を発揮できるように役割を持ってもらったり、生活の中に取りいれている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者個々の希望、要望にあわせその都度対応がされている。また、日常的に事業所外に出る働きかけがされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日々のミーティング等で身体拘束について再認識、再確認をしながら日常業務として取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>入居者が外出しそうな様子を察知したときは、止めるのではなく一緒に最後まで付き添い、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年二回消防署の協力を得ながら訓練を行っている。また、運営推進会議で協力を依頼している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>摂取状況を毎日チェックし、全職員が把握出来る体制で、状態変化も早期に発見出来ている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し対応している。また、家族の同意の下に予防接種等を実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>落ち着いた雰囲気で寛げるように、飾りやレイアウトが工夫されている。また、家具の配置換え等を行い、入居者が居心地よく過ごせるように努めている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から使い慣れた家具等を持ってきてもらい、入居者がそれまでの生活環境を維持し、居心地よく過ごす事が出来るように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。